岡田っ子通信

松前町立岡田小学校
令和７年２月

楽しいクラブ活動を通して

クラブ活動担当　渡部　琴美

４年生になると、待ちに待ったクラブ活動が始まります。岡田小学校には 13 のクラブがあり、４～６年生の子どもたちが自分の興味・関心に合ったクラブに所属して、楽しく活動しています。２月６日に行われたクラブ見学では、見学に来た３年生に、つくった作品をプレゼントしたり、ゲームや試合を体験してもらったりするなど、自分たちのクラブの様子や魅力を工夫して伝えました。３年生にとっても、４～６年生にとっても、充実したよい機会になったようです。

岡田っ子が楽しみにしているこの「クラブ活動」は、異学年の子どもたちの交流や個性の伸長をねらいとしていますが、実は、文化や伝統を受け継ぐという大切な役割も担っています。特に、伊予万歳クラブやお茶クラブ、お箏クラブでは、地域の方に講師として来ていただき、それぞれの文化や伝統を直接教えていただいています。子どもたちは、クラブ活動での体験を通してよさや楽しさを味わい、それを周りの人に伝えていくことで、古くから残る大切な文化や伝統を後世へとつないでいるのです。

今後も、子どもたちや地域の方々と共に、楽しく有意義なクラブ活動にしていきたいと思います。

生きる力を育む保健教育

養護助教諭　渡部　実穂

みなさまは学生時代に「保健」の授業をどのように受けていらっしゃいましたか？私は、テストのために勉強をする程度であまり重きを置いている教科ではありませんでした。しかしながら大人になった今、学校で学んだことの中で一番生活に直結しているのは「保健」なのではないかと思っています。例えば、朝ご飯をしっかり食べることの大切さや、風邪をひかないための手洗い、心が疲れたときの対処法など、どれも毎日のくらしに欠かせないものばかりです。小さな頃からこうした知識を学び、実践することは、ただ健康を守るだけではなく、「自分自身を大切にする力」につながっていくのだと思います。

そして、このような知識を生きる力へとつなげていくためには家庭での関わりも大切なのだと思います。朝ご飯の大切さを知っていても、家庭で食べる習慣がなければ身に付きませんし、心の健康について学んでも、安心して話せる環境がなければ活かされません。「今日はどんなことを学んだの？」と聞いていただくだけでも子どもたちは自分の学びを意識し、行動に移しやすくなります。

保健の学びが健やかに、そして幸せに生きる力を育むものとなるよう努めて参りますので、ご家庭でのお声がけを引き続きよろしくお願いいたします。

がんばったよ！校内書き初め大会

わたしは、じぶんの文字にならないように、お手本をよく見てれんしゅうしました。フェルトペンでかくときは、１かいしょうぶなので、どきどきしたけど、しゅう中してうまくかくことができました。入しょうしたので、うれしかったです。 １年	ぼくは、れんしゅうのときと同じように、さい後までていねいに書くことをがんばりました。フェルトペンで「元気な子」と書くのがむずかしかったです。名前もバランスよく書くことができました。入しょうして、うれしかったです。 ２年	わたしは、「はつゆめ」を大きく太くきれいな字で書きました。「ゆ」がうまく書けなかったけど、手本を見て、ゆっくり一画一画ていねいに書くと、上手に書けました。友達がアドバイスしてくれたので、とても上手に書けました。 ３年
ぼくは、「美しい空」を書きました。特に、「美」のはらいの部分をがんばりました。「空」は、最後の一画までていねいに書きました。入しょうしたので、よかったです。来年も入しょうをめざしてがんばりたいです。 ４年	ぼくは、「天下泰平」という言葉を書きました。この言葉を選んだ理由は、１年間平和に過ごそうという思いがあるからです。特に難しかった漢字は、「天」です。はらいの部分が難しかったです。 ５年	私は、「吉野の桜」と書きました。「桜」の女の部分のバランスがくずれないように、集中して一つ一つていねいに書きました。力強く書くところや細かく書くところに注意しました。きれいな作品ができたのでよかったです。 ６年